

令和2年度 事業報告書

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

令和2年度 事業報告目次

総括	1
受託事業及び実施事業について	2～5
別紙Ⅰ 障害者就労促進チャレンジ事業	6
別紙Ⅱ 精神障害者等向け実践能力取得訓練コースの委託先機関開拓業務	7
別紙Ⅲ 令和2年度実績表	8～10
別紙Ⅳ 制度施策部会 事業報告	11
別紙Ⅴ 研修部会 事業報告	12
別紙Ⅵ 広報部会 事業報告	13
別紙Ⅶ 特別部会 事業報告	14
別紙Ⅷ 特別支援学校との連携におけるワーキンググループ事業報告	15
別紙Ⅸ 役員 部会 事務局構成	16
別紙Ⅹ 加盟センター 一覧表	17
別紙Ⅺ 障害者就労促進チャレンジ事業 実施状況	18

1. 総括

2020年は新型コロナウイルスへの対応に終始した一年となりました。年度当初に出された緊急事態宣言により、我々センターの活動もほぼ休止状態となり、企業への訪問や来所・対面による面談などが、感染拡大防止の観点から実施困難な状況に追い込まれました。また、就労している多くの支援対象者が会社に出社することが出来ずに生活リズムを崩す、あるいは人との関わりの一切を絶たれ孤立するという状況になりました。センター事業においては、在職者交流会や企業を対象とした研修等、人が集まるイベントが一切開催できなくなりました。4月に関してほぼすべての事業がストップした状況になり、不安でいっぱいスタートとなりました。

このような状況の中、各センターではコロナを言い訳に「出来ない」と事業を止めてしまうのではなく「どうすれば出来るか」を模索し、様々な取り組みを始めました。これまでは馴染みのなかったWEBを活用した面談、会議、研修等の開催や、電話連絡等による現状把握、また連絡協議会を通じたセンター間の情報交換など、出来ることをやるというスタンスで取り組みました。一方、センターの運営においては「感染拡大防止」への取組が大きな課題となりました。新たなウイルスということもあり、対応に関して国から明確な指針が示されず、地域や法人により対応基準が異なり混乱する場面もありました。しかし、連絡協議会を通じて情報交換をすることにより、センターが孤立することなく対応することが出来たのではないのでしょうか。

連絡協議会の活動も新型コロナウイルス感染拡大防止の方策をとりつつ着実に進めることができました。研修部会では初の試みとなるZOOMを活用した研修を計画通り2回開催することが出来ました。特別部会・制度施策部会ではコロナ対策に関する緊急アンケートを実施し、情報収集に努めました。広報部会ではこの結果を受けて臨時の広報誌を発刊し、情報共有に努めました。年2回開催の連絡調整会議はZOOMと集合を併用した「ハイブリッド」での開催とし、令和元年度に引き続き「障害者雇用の質」についてしっかりと議論しました。また、3月には連絡協議会として多くの問題意識を持っている障害者雇用ビジネスを展開する「株式会社エスプール」の訪問を受け、改めて「障害者雇用・就労」のあるべき・目指すべき方向性について、また本ビジネスの問題点について協議会としての見解を伝えました。連絡協議会のメンバーが同じ想いを共有していることを再認識する場になったと言えます。

このように、コロナ禍においても「協議会として出来ることを実践する」という活動を通して、障害者雇用・就労の発展に取り組んだ一年でした。改めてネットワークの重要性、ありがたさを体感することが出来たのではないのでしょうか。今後ますますセンター間および関係機関の皆様との連携を強化していかなければと強く感じました。

コロナ禍においても、当協議会の活動にご協力いただいた皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。

I 受託事業について

I-1 障害者就労促進チャレンジ事業

受託先 千葉県商工労働部産業人材課
受託期間 令和2年4月30日(木)～令和3年3月31日(水)
詳細 (別紙I) 令和2年度 障害者就労促進チャレンジ事業報告書参照

I-2 精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

受託先 千葉県商工労働部産業人材課
受託期間 令和2年4月30日(木)～令和3年3月31日(水)
詳細 (別紙II) 令和2年度 精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務 業務完了報告書参照

II 実施事業について

II-1 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会

参加数 16センター
開催日 令和2年5月22日(金)
開催方法 ZOOM(WEB会議)

内容 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について

II-2 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会定例会

参加数 16センター
開催日 第1回定例会 令和2年 7月21日(火) 会場:ハロー貸会議室千葉
第2回定例会 令和2年 9月15日(火) 会場:ハロー貸会議室千葉
臨時開催 令和2年10月12日(月) 会場:WEB会議
第3回定例会 令和2年11月24日(火) 会場:ハロー貸会議室千葉
第4回定例会 令和3年 1月19日(火) 会場:WEB会議
第5回定例会 令和3年 3月16日(火) 会場:千葉商工会議所

内容 協議会運営に関する協議及び情報共有の場として2か月に1度を目安に実施。
障害者雇用に関する情報交換及び行政や外部団体の新規事業説明等を行うことにより、情報共有を図る。

II-3 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会幹事会

参加数 会長 副会長 各部会代表 事務局の予定
開催日 第1回幹事会 令和2年 4月22日(水) 会場:WEB会議
第2回幹事会 令和2年 5月12日(火) 会場:WEB会議

第3回幹事会	令和2年7月7日(火)	会場：キャリアセンター
第4回幹事会	令和2年9月1日(火)	会場：キャリアセンター
第5回幹事会	令和2年11月10日(火)	会場：キャリアセンター
第6回幹事会	令和3年1月15日(金)	会場：キャリアセンター
第7回幹事会	令和3年3月2日(火)	会場：ハローワーク千葉

内 容 主に定例会前に開催。定例会の協議事項などの確認および喫緊の課題等を協議

II-4 障害者就業・生活支援センター連絡調整会議

① 第1回連絡調整会議

参加数 全16センター及び各関係団体

開催日：令和2年8月28日(金) 会場：ホテルプラザ菜の花

参加団体

千葉県健康福祉部障害福祉事業課、千葉県商工労働部産業人材課、
 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課、千葉県総務部総務課
 千葉県教育庁企画管理部教育総務課、千葉県特例子会社連絡会、
 千葉障害者職業センター、千葉県立障害者高等技術専門学校、
 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会、毎日新聞社会部
 千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会

内 容 部会活動報告、意見、情報交換、鼎談

テーマ 『新たな希望～障害者と共に「働く」について～』

進行 障害者就業・生活支援センターいちされん 西村拓士

登壇者 毎日新聞社会部 記者 山田奈緒氏

千葉県特例子会社連絡会事務局 SMBCグリーンサービス株式会社

東日本人事部部長 金井隆氏

就労移行支援事業所リンクス 施設長 島本昭平氏

② 第2回連絡調整会議

参加数 全16センター及び各関係団体

開催日：令和3年3月5日(金) 会場：ホテルポートプラザ千葉

参加団体

千葉県商工労働部産業人材課、千葉県健康福祉部健康福祉指導課、
 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課、千葉県教育庁教育総務課、
 千葉障害者職業センター、千葉県立障害者高等技術専門学校、
 千葉県発達障害者支援センターCAS

内 容 部会活動報告、意見、情報交換、シンポジウム

テーマ 『ゴールはここじゃない？まだ終わりじゃない？』

～障害のある人たちの「働く」と「定着」を「関係者」の目線から考える～

進 行 障害者就業・生活支援センター は一とふる 柄澤隆一

講演者 スターティアウィル株式会社 代表取締役 飯田和一氏

就労移行支援事業所リンクス 施設長 島本昭平氏

千葉障害者キャリアセンター 向日宏一

Ⅱ－５ 各種会議体への参加、研修会等への講師派遣（別紙Ⅲ）

- ① 千葉県総合支援協議会本部会委員
- ② 千葉県総合支援協議会就労支援専門部会
- ③ 千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会委員
- ④ 千葉県総合支援協議会精神障害者地域生活支援専門部会
- ⑤ 千葉県障害者施策推進協議会委員
- ⑥ 千葉県障害者就労事業振興センター理事
- ⑦ 千葉県特別支援教育研究推進会議
- ⑧ 千葉県発達障害者支援地域協議会
- ⑨ 千葉県若者自立支援ネットワーク協議会
- ⑩ 令和２年度障害者雇用サポート事業への協力

Ⅱ－６ 関係機関との連絡調整・会議及び業務委託

- ① 千葉労働局～雇用安定等事業、福祉・教育・医療から雇用への移行推進事業
- ② 千葉県商工労働部産業人材課～障害者就労促進チャレンジ事業、企業支援員事業、笑顔いっぱいフレンドリーオフィス事業、精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務
- ③ 千葉県商工労働部経済政策課～千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」
- ④ 千葉県健康福祉部障害福祉事業課～生活支援等事業
- ⑤ 千葉県健康福祉部高齢者福祉課～若年性認知症に関する就労支援
- ⑥ 千葉県総務部総務課～チャレンジドオフィスちば
- ⑦ 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課～特別支援学校進路指導主事、就労支援コーディネーター連絡協議会への出席及び連携
- ⑧ 千葉県教育庁教育振興部教職員課～県立高等学校、県立教育機関における障害者雇用
- ⑨ 千葉県立障害者高等技術専門校～委託訓練事業、連絡会への出席及び連携
- ⑩ 千葉障害者職業センター～年２回の意見・情報交換会への出席及び連携
- ⑪ 千葉県特例子会社連絡会～年２回の意見・情報交換会への出席及び連携
- ⑫ パソナ・千葉～千葉県障害者雇用サポート事業
- ⑬ 千葉県就労継続支援事業Ａ型連絡協議会～意見・情報交換会への出席及び連携
- ⑭ 千葉県障害者就労事業振興センター～障害者の自立

Ⅱ－７ 部会活動（別紙部会事業報告参照）

- ① 制度施策部会（別紙Ⅳ）
- ② 研修部会（別紙Ⅴ）
- ③ 広報部会（別紙Ⅵ）
- ④ 特別部会（別紙Ⅶ）

Ⅱ－８ ワーキンググループ活動

千葉県内特別支援学校就労支援コーディネーター幹事校等と、在学中の支援や定着支援の在り方、情報共有について等年２回意見交換を行った。次年度以降も引き続きワーキンググループとして活動していく。

詳細については（別紙Ⅷ 特別支援学校との連携に関するワーキンググループの報告書）を参照

Ⅱ－９ 添付資料

- ① 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 役員・部会構成（別紙Ⅸ）
- ② 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会加盟センター一覧（別紙Ⅹ）

令和2年度 障害者就労促進チャレンジ事業 事業報告書

令和2年度は、企業向け見学会を6回、障害者向け見学会を3回開催し、短期職場実習80件を実施することを目標とした。千葉労働局の協力のもと、各ハローワークから法定雇用率未達成企業等への案内文送付の協力を頂けたこと、コロナ禍で圏域独自に対策を図りながら実施したことなどもあり、対象企業からの反応は良かった。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、対面とオンラインを併用したハイブリット開催をするなど、社会情勢に応じて事業を実施した。また、代替えとして雇用促進アンケートを実施し検証することで、理解促進につながった。結果的に当初の目標値を上回ることができた。

具体的な開催状況については（別紙XI 令和2年度年度障害者就労促進チャレンジ事業実施状況）を参照。

1 企業等の理解促進（企業向け職場見学相談会）

・企業向け見学会

7圏域で開催している。多くの圏域でオンラインを活用しての開催となっているが、障害者雇用において先駆的な取り組みをしている企業や今後雇用が伸びていくと思われる業種で障害をお持ちの方が活躍している企業を見学、参加企業及び関係機関との意見交換を実施している。全体で46企業26機関100名が参加された。コロナ禍での取り組みとしてアンケートを実施した圏域もあり、505枚配布、218枚回収、そのうち17社が相談に繋がった。最終的に雇用に至った企業は無かったが、障害者雇用の理解促進が図られたことで、新たに障害者雇用を進めたいと希望された企業もあった。

2 障害のある人等の意識改革

今年度は3圏域で開催し、計49名の障害当事者、保護者、支援者等が参加し、企業見学・企業担当者や障害当事者との意見交換・参加者間の情報交換等を行った。

この見学会を経て今まで就業は難しいだろうと考えていた障害当事者やその周りの方が、就業に目を向ける良いきっかけになり、1名の方が就労に至っている。

3 短期職場実習

企業支援員と協力しながら、実習企業の開拓を行った。昨年とは違いコロナ禍での実習受け入れであり、企業側も感染対策を取りながらの実習であった。一方、令和3年3月に法定雇用率が改正されることも受けて、実習を受け入れる企業側の意識も高かった。

今年度も各センター概ね5回、全体で80回、基本的に1回あたりの実習日数を5日程度として、事業実施を行い、問題なく取り組めた。

結果としては109回延べ517日の実習を行うことが出来、さらに実習をきっかけに就職された方は61名となっている。

令和2年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務
業務完了報告書

令和3年3月31日

千葉県知事 鈴木 栄治 様

住所 千葉県千葉市美浜区新港4-3

氏名 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会
会長 藤尾 健二 印

平成31年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務委託
契約書第13条により、下記のとおり報告します。

記

1 事業実施結果

(1) 実践能力習得訓練コースの受託企業の開拓（詳細別紙実績報告書のとおり）

① 訪問企業数	25件
② ①のうち実践能力習得訓練コースを新たに受託した企業数	13件
③ 上記②の企業が実施した延訓練定員	7人
④ 訪問先企業を選定するにあたって参考とした情報等 精神障害者の雇用経験が豊富な企業（笑顔いっぱいフレンドリーオフィス認定企業を中心に）、またハローワークと連携しながら、経験はあまりなくても会社全体で積極的に受け入れていこうとしている企業などを訪問し、受託の依頼をしている。	

(2) 訓練内容や訓練カリキュラム等のコーディネート

① 訓練内容や訓練カリキュラムをコーディネートした企業数	38件
(具体的なコーディネート内容) 新たに訓練先として認定された企業において、実際に訓練が活用されるよう障害者高等技術専門校と連携し、訓練カリキュラム設定等のコーディネートを行った。	

(3) 実践能力習得訓練コースの受託企業に対する事務手続き等の支援

① 事務手続き等の支援をした企業数	26件
(具体的な支援内容) 障害者高等技術専門校と連携し、電話もしくは必要に応じて企業を訪問するなどして、企業の事務負担軽減を図った。	

(4) その他訓練受託企業に対する助言・支援

企業に対して、訓練当事者の障害特性や仕事の適性などを伝え、スムーズに訓練を行えるようにしたり、訓練開始後に企業・当事者双方からもう少し訓練をしたいということで期間を変更するなど柔軟な対応を図るなどした。障害者高等技術専門校コーディネーターなどと連携しながら適宜企業訪問し、不安なことがあった場合に気軽に連絡できるような関係を築くことで、戸惑いや不安は取り除くことが出来た。	
--	--

令和2年度

4月	5月							6月							7月							ナカポツスタツ研修 HWとナカポツセンター意見交換会
水	1	金		1	月		1	水					1	水								
木	2	土		2	火		2	木					2	木								
金	3	日		3	水		3	金					3	金								
土	4	月		4	木		4	土					4	土								
日	5	火		5	金		5	日					5	日								
月	6	水		6	土		6	月					6	月								
火	7	木		7	日		7	火					7	火								
水	8	金		8	月		8	水					8	水								
木	9	土		9	火		9	木					9	木								
金	10	日		10	水		10	金					10	金								
土	11	月		11	木		11	土					11	土								
日	12	火		12	金		12	日					12	日								
月	13	水		13	土		13	月					13	月								
火	14	木		14	日		14	火					14	火								
水	15	金		15	月		15	水					15	水								
木	16	土		16	火		16	木					16	木								
金	17	日		17	水		17	金					17	金								
土	18	月		18	木		18	土					18	土								
日	19	火		19	金		19	日					19	日								
月	20	水		20	土		20	月					20	月								
火	21	木		21	日		21	火					21	火								
水	22	金		22	月		22	水					22	水								
木	23	土		23	火		23	木					23	木								
金	24	日		24	水		24	金					24	金								
土	25	月		25	木		25	土					25	土								
日	26	火		26	金		26	日					26	日								
月	27	水		27	土		27	月					27	月								
火	28	木		28	日		28	火					28	火								
水	29	金		29	月		29	水					29	水								
木	30	土		30	火		30	木					30	木								
		日		31				金					31	金								

8月		9月		10月		11月		南関東ブロック会議	
1 土		1 火	協議会幹事会	1 木		1 日			
2 日		2 水		2 金		2 月			
3 月		3 木		3 土		3 火			
4 火		4 金	就労支援コーディネーター連絡会議	4 日		4 水			
5 水		5 土		5 月		5 木			知的障害者福祉協会相談支援部会
6 木		6 日		6 火		6 金			第1回千葉県総合支援協議会精神障害者地域生活支援専門部会
7 金		7 月	第2回千葉県総合支援協議会本部会	7 水		7 土			
8 土		8 火		8 木		8 日			
9 日		9 水		9 金		9 月			
10 月		10 木		10 土		10 火			協議会幹事会
11 火		11 金		11 日		11 水			
12 水		12 土		12 月		12 木			
13 木		13 日		13 火		13 金			
14 金		14 月		14 水		14 土			
15 土		15 火	協議会定例会	15 木		15 日			
16 日		16 水		16 金		16 月			
17 月		17 木		17 土		17 火			
18 火		18 金		18 日		18 水			海匠圏域企業向け見学会 (WEB開催)
19 水		19 土		19 月		19 木			
20 木		20 日	知的障害者福祉協会相談支援部会	20 火		20 金			特別支援学校プロジェクトチーム会議
21 金		21 月	第1回研修部会スタッフ研修	21 水		21 土			
22 土		22 火		22 木		22 日			
23 日		23 水		23 金		23 月			
24 月		24 木		24 土		24 火			協議会定例会
25 火		25 金		25 日		25 水			
26 水		26 土		26 月		26 木			
27 木		27 日		27 火		27 金			
28 金		28 月	第1回連絡調整会議	28 水		28 土			
29 土		29 火		29 木		29 日			
30 日		30 水		30 金		30 月			第1回千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会
31 月				31 土					

第2回障害者の生活を送った学びの成果のためのコンソーシアム(次期)

第1回千葉県総合支援協議会精神障害者地域生活支援専門部会

第1回千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会

第1回千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会

12月	特別子会社連絡会 職業センターとの意見交換会		1月		2月		3月	
1	火		1	金	1	月	1	月
2	水		2	土	2	火	2	火
3	木		3	日	3	水	3	水
4	金	障害者就業・生活支援センター事業に係るフロンティア創出協議会	4	月	4	木	4	木
5	土		5	火	5	金	5	金
6	日		6	水	6	土	6	土
7	月	知的障害者福祉協会相談支援部会	7	木	7	日	7	日
8	火	君津圏域障害者向け見学会	8	金	8	月	8	月
9	水		9	土	9	火	9	火
10	木		10	日	10	水	10	水
11	金		11	月	11	木	11	木
12	土	就労フォーラムNIPOON2020	12	火	12	金	12	金
13	日	就労フォーラムNIPOON2020	13	水	13	土	13	土
14	月		14	木	14	日	14	日
15	火		15	金	15	月	15	月
16	水		16	土	16	火	16	火
17	木	第3回障害者の生活を通じた学びの充実のためのコンソーシアム	17	日	17	水	17	水
18	金	第3回千葉県総合支援協議会本部会	18	月	18	木	18	木
19	土		19	火	19	金	19	金
20	日		20	水	20	土	20	土
21	月		21	木	21	日	21	日
22	火		22	金	22	月	22	月
23	水	第1回千葉県総合支援協議会部会推進協議会(欠席)	23	土	23	火	23	火
24	木		24	日	24	水	24	水
25	金		25	月	25	木	25	木
26	土		26	火	26	金	26	金
27	日		27	水	27	土	27	土
28	月		28	木	28	日	28	日
29	火		29	金			29	月
30	水		30	土			30	火
31	木		31	日	広報紙発行		31	水

令和2年度 制度施策部会事業報告

I. 総括

コロナ禍という事もあり、思うように活動が出来なかったこと、また部会活動の在り方について考える1年となった。令和2年度は予算を大幅に増額して「他県の障害者就業・生活支援センターの取り組みの視察」新型コロナウイルス感染症拡大防止を留意して、計画したのだが実施に至らなかったことが大きく悔やまれる。

アンケートの作成や調査においては、当協議会が見つないできた「縁」が形となり、多数のセンターの協力を得て意見の収集と発信が行えた。コロナ禍で制限がある中でも連携を図り、部会活動が出来たと考える。

一方で会議等オンライン上での活動が可能となった事で、スタンドアローンでの活動が作業効率を上げる矛盾も生まれ、今後の部会活動の幅を広げる気付きにもなった。

II. 活動内容

- ・ 特別部会・広報部会と連動した『緊急事態宣言に伴うアンケート』の実施及び集計
→県内16センター+青森、秋田、広島、愛媛、熊本のナカポツセンターから意見集約。その後広報を通じ情報提供に加え、協力5県のセンターを介し県内状況を発信。
- ・ 事業評価に関し県内16センターにアンケートの実施。
→次年度に継続。

III. 部会開催状況

第1回会議(web開催) 7月9日実施

内容:活動内容方向性、課題等に関し

以降メール等でのやりとりを中心に活動

特別部会、広報部会との連動企画によるコアメンバー会議の実施。

令和2年度 研修部会事業報告

I. 総括

県内の障害者就業・生活支援センター職員の育成を目的として、令和2年度は研修会を2回開催した。第1回はコロナ禍で対面以外の相談需要や会議が増加したことから『Zoomの使用方法和セミナー&会議を運営するコツ』についてオンライン研修を実施した。研修部会員がパソコン教室でZoomの操作方法について学び、当日の講師を担った。第2回の研修は『相談技術向上のための傾聴』をテーマに株式会社話し方教育センター千名氏に講師を依頼し、傾聴の基本についてロールプレイも取り入れながら、オンラインで実施をした。

コロナ禍で、例年のように集合しての研修を行う事は出来なかったが、移動がなく多くの職員に参加してもらえるなど、オンラインで行う事のメリットを感じた1年であった。

II. 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会研修事業（年2回開催）詳細

研修会名『令和2年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 第1回スタッフ研修』

- ① 開催日時 令和2年8月21日（金）13時00分～14時30分
- ② 開催方法 Zoom
- ③ 参加人数 障害者就業・生活支援センター職員59名
- ④ 研修内容 ◆講義 「Zoomの特徴を知り主催者だけが使用できる機能やセミナー&会議を運営する際のコツを学ぶ」
（講師）いちされん 西村 拓士氏
東総就業センター 福島 美果氏

研修会名『令和2年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 第2回スタッフ研修』

- ① 開催日時 令和3年2月22日（月）13時30分～16時40分
- ② 開催方法 Zoom
- ③ 参加人数 障害者就業・生活支援センター職員58名
- ④ 研修内容 ◆講義 「相談技術向上のための傾聴研修」
（講師）株式会社話し方教育センター 千名 友貴氏

III. 部会開催状況

- 第1回 令和2年 6月15日（月）第1回スタッフ研修打ち合わせ（web開催）
- 第2回 令和2年 7月 1日（水）第1回スタッフ研修打ち合わせ
- 第3回 令和2年 8月17日（月）第1回スタッフ研修最終打ち合わせ（web開催）
- 第4回 令和2年 9月15日（火）第2回スタッフ研修打ち合わせ
- 第5回 令和2年11月24日（火）第2回スタッフ研修打ち合わせ
- 第6回 令和3年 2月 9日（火）第2回スタッフ研修最終打ち合わせ（web開催）

別紙VI-1

令和2年度 広報部会事業報告

I. 総括

今年度の広報紙は、第20号を令和2年6月30日、第21号を令和3年1月31日に発刊。紙面構成については、第20号は、制度施作部会・特別部会と連携し、各センターにアンケートを行った結果について、コロナ特別版として作成をした。また、第21号は、県内センターの紹介や連絡協議会の取り組み、トピックス等、連絡協議会の活動について作成をした。広報紙は、各関係機関への送付のほか、各センターでの広報活動等で活用し、連絡協議会の活動・実績など広く周知を図った。

II. 活動内容

ホームページの維持・管理はTMクリエイトに委託した。各センターのチャレンジ事業の開催案内や、広報紙の掲載等を実施し、また、ホームページの構成の再構築を行った。さらに、新たにアクセス解析を取り入れ、グーグルアカウントを作成し、ひと月に何件のアクセスがあったか、どの地域からどのホームページを見たか等の情報を得ることで、ホームページの充実を図った。今後も連絡協議会のPR等に結びつくように管理を行っていく。

パンフレットの作成は、株式会社集賛舎に依頼した。センターの住所など、変更が数点あり、写真や配色の更新をした。前年度の使用部数等を考慮し4,000部作成した。新型コロナウイルス感染の影響で、配布する機会が減少したためか増刷はしていない。次年度も定期的に残数確認を実施し、適切に配分が行えるよう、必要に応じて増刷を行っていく。

III. 部会の開催

令和2年 6月 1日 (月)	ホームページの管理、パンフレットについて
令和2年 6月10日 (水)	ホームページの管理、パンフレット変更点の確認 広報紙20号の発刊について
令和2年10月16日 (金)	ホームページの管理、広報紙21号の発刊について
令和2年12月11日 (金)	ホームページの管理、広報紙21号の発刊について

別紙Ⅶ

令和2年度 特別部会事業報告

Ⅰ. 総括

障害者雇用ビジネスに関して喫緊の課題を協議し、統一見解を図るための情報集約と内・外への情報発信ができた。「支援機関としての障害者雇用の在り方」「障害者雇用ビジネスとの向き合い方」について議論を進めることができた。また、制度施策部会と協力し、千葉県内16センターから「対応困難ケース」についてアンケートをとり、それをもとに障害者就業・生活支援センターとして、身を守る手段が必要であるとの意見から、令和3年度千葉県内センターの登録書類（利用方法や約束事等）の統一化に向けて進めていくこととした。

Ⅱ. 活動内容

- ・連絡調整会議にて～障害者と共に「働く」～をテーマとし障害者雇用ビジネスの向き合い方を様々な立場の方と意見交換を実施。
- ・「対応困難ケース」アンケートの内容を精査。
- ・就労フォーラム NIPPON 2020（特別部会 西村が参加）
- ・雇用カンファレンス研修（特別部会 溝上が参加）

Ⅲ. 部会開催状況

第1回 令和2年7月17日（金）

- ① 場 所 ZOOM 会議
- ② 内 容 障害者雇用ビジネス状況整理・連絡調整会議詳細打ち合わせ・今年度の取り組みについて

第2回 令和2年12月23日（水）

- ① 場 所 千葉障害者キャリアセンター
- ② 内 容 エスプールとの意見交換について・アンケート内容の報告・登録書類の統一化について

別紙Ⅶ

令和2年度 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ事業報告

I. 総括

令和2年度は、コロナ禍で予定されていた特別支援学校との様々なイベント、会議が中止、延期となり意見交換などが令和元年度に比べ減少した。

規模の大きな会議などは実施出来ていないが、圏域内で各学校と障害者就業・生活支援センターが連携しながら、相互理解を深める1年となった。

県全体で見ると、各圏域での引継ぎや支援方法、考え方等もまだまだ違いが大きい為、ある程度の統一したフォームやシステムは必要だと思われる。次年度の令和3年度以降はWEB会議なども取り入れることを検討する。

今後も障害者就業・生活支援センター内でも情報を集約するとともに、支援を円滑に進められるよう、意見交換を続けていきたい。

II. 活動内容

特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議等に参加し、千葉県内特別支援学校就労支援コーディネーター幹事校等と、在学中の支援や卒業生の定着支援の在り方、技能員や調理員の在り方等について意見交換を行った。

III. 部会開催状況

【就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議】千葉県総合教育センター

- ・ナカポツセンター不参加

【就労支援コーディネーター連絡協議会】千葉県総合教育センター

- ・令和2年 9月 4日（金） 15:00～17:00
- ・令和2年12月 2日（水） 15:00～17:00

【ワーキンググループ打ち合わせ】千葉障害者キャリアセンター

- ・未実施

別紙IX

令和2年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

役員・部会・事務局構成

① 役員

役職	所属	氏名
会長	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	藤尾 健二
副会長	障害者就業・生活支援センター 東総就業センター	辻内 理章
副会長	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸	古川 亮
監事	千葉県知的障害者福祉協会 相談支援部会部会長	大越 将司

② 部会構成

広報部会 担当：古川副会長 部会長：杉山布美江	障害者就業・生活支援センター エール	杉山 布美江
	障害者就業・生活支援センター 中里	金木 隆裕
	障害者就業・生活支援センター ピア宮敷	鶴岡 裕太
	障害者就業・生活支援センター 山武プリオ	杉本 リリアーナ
	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
制度施策部会 担当：國島弘 部会長：柄澤隆一	障害者就業・生活支援センター はーとふる	柄澤 隆一
	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏	八木原 直彦
	障害者就業・生活支援センター 就職するなら明朗塾	斎藤 信明
	障害者就業・生活支援センター 香取就業センター	岡澤 和則
	障害者就業・生活支援センター 長生プリオ	深澤 茂俊
研修部会 担当：辻内副会長 部会長：今井宏美	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸	今井 宏美
	障害者就業・生活支援センター 東総就業センター	福島 美果
	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	栗原 章泰
	障害者就業・生活支援センター 大久保学園障害者就業・生活支援センター	申 美娟
	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
特別部会 担当：藤尾会長 部会長：西村拓士	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センター 山武プリオ	杉本 リリアーナ
	障害者就業・生活支援センター 長生プリオ	深澤 茂俊
	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター ピア宮敷	溝上 忍

③ 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ

部会長：向日宏一	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	向日 宏一
	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	在原 秀則
	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センター 中里	金木 隆裕
	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏	八木原 直彦
	障害者就業・生活支援センター 香取就業センター	岡澤 和則

事務局	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター
-----	--------------------------------

令和2年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 加盟センター一覧表

圏域	センター名	住所	電話番号
千葉	千葉障害者キャリアセンター	〒261-0002 千葉市美浜区新港43	043-204-2385
習志野	あかね園	〒275-0024 習志野市茜浜3-4-6京葉測量棟内	047-452-2718
船橋	大久保学園	〒274-0053 船橋市豊富町690-13(とよとみみらい内)	047-457-7380
市川	いちされん	〒272-0023 市川市南八幡5-17-11 1階	047-300-8630
野田	はーとふる	〒278-8550 野田市鶴奉7-1野田市役所 1階	04-7124-0124
松戸	ビック・ハート松戸	〒271-0047 松戸市西馬橋幸町117 ロザール松戸109	047-343-8855
柏	ビック・ハート柏	〒277-0005 柏市柏3-6-21 柏ビル302	04-7168-3003
印旛	就職するなら明朗塾	〒289-1115 八街市八街ほ244-62	043-488-5499
市原	ふる里学舎地域生活支援センター	〒290-0265 市原市今富1110-1	0436-36-7762
君津	エール	〒292-0067 木更津市中央1-16-12サンライズ中央1階	0438-42-1201
安房	中里	〒294-0231 館山市中里291	0470-20-7188
夷隅	ピア宮敷	〒299-4504 いすみ市岬町桑田341-1	0470-87-5201
山武	山武ブリオ	〒299-3211 大網白里市細草3221-4	0475-77-6511
長生	長生ブリオ	〒297-0012 茂原市六ツ野2796-40	0475-44-4646
海匝	東総就業センター	〒289-2513 旭市野中3825	0479-60-0211
香取	香取就業センター	〒287-0101 香取市高萩1100-2	0478-79-6923